

## 勤務条件

- ◇ **初任給** (令和8年4月1日現在)  
大学卒：約250,500円、大学院卒：約264,400円  
※資格取得後に採用された場合で、地域手当を含みます。  
※なお、学歴や職歴によってはこの額に一定の基準に基づいて加算された金額となる場合があります。
- ◇ **諸手当** 期末・勤勉手当(令和7年度：4.65月分)、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等
- ◇ **勤務時間** 8:30～17:15(休憩時間60分)  
※勤務場所によって異なる場合があります。
- ◇ **休日** 土曜日・日曜日・祝日及び年末年始  
※勤務場所によって異なる場合があります。
- ◇ **休暇** 年次有給休暇(年間20日)、結婚休暇、産前・産後休暇、育児休業、要介護者の介護や不妊治療のための家庭支援休暇等

## 採用試験について

- ◆ **試験日** 第一次試験：6月中旬～下旬、第二次試験：7月中旬、8月上旬～中旬
- ◆ **受験資格** ①満35歳未満(試験実施年度4月1日現在)  
②大学において考古学又は歴史学を専攻して卒業又は卒業見込みの方
- ◆ **試験内容** 第一次試験(教養試験、専門試験(記述式))  
第二次試験(論文試験、個別面接試験)
- ◆ 欠員の状況等により試験が実施されない場合があります。詳細は、試験案内または仙台市ホームページ「仙台市職員採用情報」をご参照ください。



## よくある質問

**Q：考古学専攻でなくても受験できますか？大学院を修了している必要はありませんか？**

A：考古学や歴史学専攻でなくても、それに準ずると認められれば受験できます。大学院修了の必要もありません。なお、令和8年度以降の試験から、発掘調査経験の要件と実測試験がなくなり、より受験しやすくなりました。

**Q：休みは取りやすいですか？**

A：はい。発掘調査業務を中心に、複数人によるチーム制で取り組む業務が多いため、予定を互いに調整して休暇を取りやすい職場環境です。

**Q：研修制度はありますか？**

A：はい。職員研修所が実施する全体研修に加えて、担当業務に関わらず多様な知識や能力を身に付けられるよう、課独自の研修プログラムを年間を通じて実施しています。

**Q：車の運転免許は必要ですか？**

A：必須ではありませんが、例えば発掘調査担当は市内各所に出掛ける機会が多いため、運転ができれば業務をスムーズに進めることができます。

## 職員採用試験に関するお問い合わせ先

仙台市人事委員会事務局任用課  
〒980-0802 仙台市青葉区二日町4-3 二日町分庁舎3階  
TEL 022-214-4457 / Fax 022-268-2942  
仙台市ホームページ「仙台市職員採用情報」  
<https://www.city.sendai.jp/ninyo/shise/shokuin/saiyo/shikenjoho/>



## 福利厚生

- ◇ **健康診断、健康相談** 年1回の健康診断の実施、心の健康相談室などの設置等
- ◇ **共済組合** 職員やその被扶養者の医療保険制度、年金の相談、人間ドック、がん検診、各種貸付・貯金事業等
- ◇ **互助会** 病気やけがで一定期間勤務を休んだ場合の見舞金や慶弔金の給付、グループ保険・年金事業、各種レクリエーション事業等
- ◇ **その他の福利厚生** 必要な被服の貸与、ライフプランセミナー等による生活設計支援、交流会開催等による子育て支援等

仙台市

令和8年4月1日作成

# 文化財主事 募集ガイド

歴史を未来へつなぐ仕事、  
あなたの力を活かしませんか？



僕たちと一緒に  
働こうよ！

文化財課非公認キャラクター  
ガングウ



市内から出土したハート型土偶



国指定史跡・仙台城跡

## 文化財主事とは？どんな仕事をするの？

文化財主事は、埋蔵文化財の発掘調査などの文化財に関する業務に従事する専門職です。

文化財の保存、保護、活用を目的に、史跡地の保存・整備・管理、埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内での発掘調査、天然記念物の保護のほか、民俗芸能のつどいや、発掘調査の成果を紹介する文化財展の開催、市内の小・中学校での出前授業、普及啓発活動など、幅広い業務に携わります。

文化財主事は現在19名在籍しており、内訳は考古・歴史が17名、建築と民俗がそれぞれ1名です。全員が文化財課に所属し、さまざまな専門分野の職員と連携しながら業務を行っています。

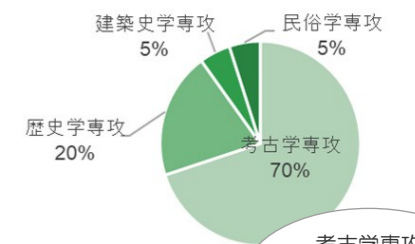


国指定重要文化財・大崎八幡宮



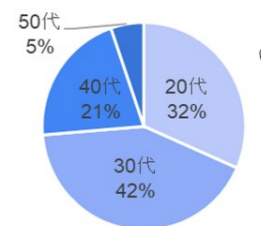
## 文化財主事の職員構成

### ①専攻別

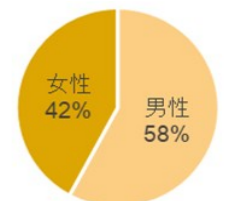


考古学専攻  
じゃない人も  
結構いるね！

### ②年齢別



### ③男性・女性別



## 主な就業場所

文化財主事は、普段は上杉分庁舎にある文化財課で業務を行います。担当業務や発掘調査の状況等によって、向田収蔵室やそれぞれの発掘現場等で業務を行い、直行・直帰もあります（発掘現場は市内全域に及びます）。

- ①文化財課〔仙台市役所上杉分庁舎10階〕
- ②向田文化財整理収蔵室〔仙台市宮城野区高砂〕
- ③長期発掘現場〔史跡（仙台城跡、郡山遺跡、陸奥国分寺等）を含め市内全域〕



## 埋蔵文化財の発掘調査

文化財課の業務のなかで最も大きな比重を占めるのが、埋蔵文化財の発掘調査です。

現在、仙台市内では約780ヶ所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）の存在が明らかになっており、公共事業及び民間の土地区画整理事業・ビル建設等に伴う発掘調査や出土品整理を行うとともに、調査報告書を刊行しています。

こうした開発行為に伴う発掘調査に加え、市内にある国指定史跡（陸奥国分寺跡など）の範囲や性格を明らかにするための発掘調査にも計画的に取り組んでいます。

発掘調査の業務には高い専門性が求められるため、大学で学んだ知識に加え、日々の業務を通じてスキルや知識を互いに高め合っています。学会活動に自主的に参加する職員もいます。



発掘調査現場見学会の様子

## 係長職インタビュー ～これからの文化財主事に求められること～

### 職場における役割について

文化財（考古学）の専門職員として、市内遺跡の発掘調査と、出土した考古資料の整理や報告書作成を行うことが主な仕事です。一般市民向けの出前講座を担当することもあり、市民の皆様により親しみをいただいているように取り組んでいます。

### 係長職としてのやりがいについて

各係員が担当する発掘調査の進捗や予算の管理が主な仕事なので、自ら発掘する機会が少なくなったのは残念ですが、複数の遺跡の調査成果をもとに仙台の歴史を紐解いていくところにやりがいを感じます。

### プライベートと仕事の両立について

私の趣味は様々な地域の歴史や文化財に触れることで、休日も子供と一緒に古墳や山城、神社仏閣などを訪れ楽しんでいきます。時には仕事で疑問に思ったところを休日に調べることもあります。一般には、プライベートと仕事をはっきり分けることが重要とされますが、それぞれのライフスタイルに応じて双方を充実させることが大事だと思います。

### 仙台市で働く魅力について

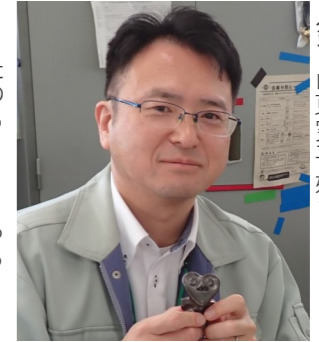
私は仙台の大学で考古学を学び、県外出身の私から見ても仙台の歴史が非常に魅力的だったため、仙台市の文化財主事を志望しました。学生時代に触れた、緑豊かな市街地の美しさも心惹かれた大きな理由です。

### 仙台市の文化財主事を目指す人へ

この仕事は、歴史の解明に貢献し、地域の魅力を守り伝えるやりがいのある仕事です。もしあなたが昔の人々が大切にしてきた文化財に興味を持ち、それを未来に残したいという思いがあるのなら、ぜひこの道を目指してみませんか？チャレンジ精神さえ持ち合わせていれば、どんなこともチームワークで乗り越えられます。

近い将来、同じチームのメンバーとして一緒に働けることを楽しみにしています!!

すずき たかし  
鈴木 隆



山形県白鷹町出身  
東北大学大学院文学研究科博士課程中退  
平成15年度採用  
好きな食べ物：どら焼き、大福



私のお気に入りの場所（岩切城跡）

## 一日の過ごし方

### ①発掘調査担当

よしだ だい  
吉田 大

秋田県秋田市出身  
東北大学文学部卒業  
令和3年度採用  
好きな食べ物：ラーメン、甘いもの



#### 現在の仕事内容

開発工事に伴う遺跡の発掘調査と、出土した土器や石器などの整理作業・報告書作成が主な仕事です。発掘調査は1～2週間の小規模なものから、数ヶ月～数年の大規模調査もあります。

#### 仕事の魅力

仙台市内は新たな開発工事が多い分、発掘調査の件数も数多く、旧石器時代から近世・近代までのさまざまな時代の遺跡を調べるチャンスがあるのが大きな魅力です。

#### 志望動機

子どもの頃から歴史が好きで、大学では考古学を専攻し、縄文土器を中心に研究しました。研究を通して習得した知識や発掘調査の経験を生かしたいと考え、文化財主事の仕事を志望しました。大学時代の4年間を過ごした仙台は住み心地が良く、このまちに住んで働きたいと思ったのも理由の一つです。

#### ある一日のスケジュール

- 08:30 ● 出勤  
スケジュール確認
- 08:40 ● 朝礼、現場に移動
- 09:00 ● 現場到着、重機掘削開始
- 10:30 ● 掘削終了、遺構精査開始
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 写真撮影、記録作業
- 15:00 ● 埋め戻し開始
- 17:00 ● 帰庁、写真・図面の整理
- 17:15 ● 退勤

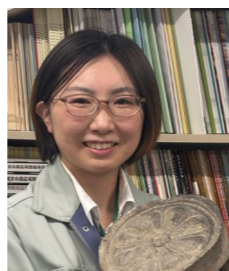


へえ～  
いろんな種類の仕事があるんだね!

### ②窓口担当

こいわ ゆうひ  
小岩 優日

岩手県一関市出身  
山形大学人文社会科学部卒業  
令和5年度採用  
好きな食べ物：伊達巻・バームクーヘン



#### 現在の仕事内容

埋蔵文化財に関する書類受付・処理や手続きの案内、問い合わせの対応を行っています。開発や工事を行う業者と対話し、遺跡保護とまちづくりとの両立を図る窓口業務です。

#### 仕事の魅力

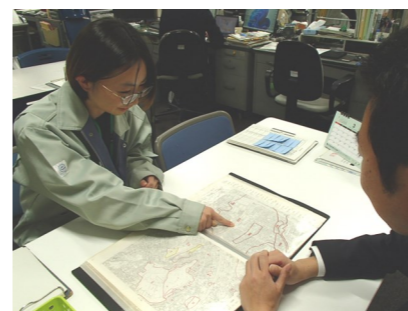
遺跡保護とまちづくりとの両立に関わりながら、専門知識も深めていくことができます。現場の声を直接受け取れるため、文化財行政の動きを実感しながら働ける点が魅力です。

#### 志望動機

歴史に携わる仕事に就きたいという思いを長く抱いており、自分の手で地域の歴史を解明したいと考え、仙台市を志望しました。仙台市は直営での調査体制が整っており、発掘調査や資料整理などの実地経験を積むことができる点に大きな魅力を感じていました。

#### ある一日のスケジュール

- 08:30 ● 出勤  
スケジュール確認
- 08:40 ● 提出書類の処理
- 09:00 ● お客様対応
- 10:00 ● 打合せ
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● お客様対応
- 15:00 ● 提出書類の処理
- 17:00 ● 翌日スケジュールの共有
- 17:15 ● 退勤



### ③建造物担当

いしくら れんげ  
石倉 蓮

宮城県仙台市出身  
東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻修了  
令和5年度採用  
好きな食べ物：桃



#### 現在の仕事内容

仙台市内にある指定・登録文化財のうち、建造物の管理や文化財所有者への助言・対応が主な仕事です。修理や維持管理の相談に応じて、建造物を適切に管理し、未来へ残すためのサポートをしています。

#### 仕事の魅力

歴史ある建造物を間近で感じられることはもちろんですが、修理や管理などを通して、何十年、何百年先の未来に残っていく文化財に携わることができるのが魅力です。

#### 志望動機

小学生の頃に歴史に興味を持ち、学ぶのが楽しくなっているうちに、歴史に関わる仕事に就きたいと思いました。地元であり、学生時代に学んでいた伊達氏の拠点である仙台市の歴史をもっと多くの人に知ってもらい、親しんでもらいたいと思い、文化財主事を志望しました。

#### ある一日のスケジュール

- 08:30 ● 出勤  
スケジュール確認
- 08:40 ● メール確認  
現地確認準備
- 09:00 ● 現地確認
- 10:00 ● 記録作成・記録共有
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 文化財所有者対応
- 15:00 ● 文化財調査
- 17:00 ● 翌日スケジュールの共有
- 17:15 ● 退勤

